



教育に新聞を！

東京新聞「NIE」特別授業 開講しました 第1回小学生編

「NIE (エヌ・アイ・イー)」とは「Newspaper In Education」の略称で、新聞を学校の教材として活用することです。児童生徒の社会への関心を高め、情報を「読み解く」力、「考える」力、問題を「解決する」力を身に付けてもらう事を目的としています。

今年で15回目を迎える「新聞切り抜き作品コンクール」を主催するなど、かねてよりNIEには力を入れて来た東京新聞ですが、本企画では、東京新聞若手組織「次世代研究所」(合言葉は「新聞に未来はある。」)と10代を中心に大人気の男性若手アーティスト集団「EBiDAN(恵比須学園男子部)」がタッグを組み更なるPRに力を入れます。

東京新聞NIEコーディネーター・神部秀一先生と東京新聞科学部・三輪記者の話真剣に聞くEBiDANのメンバーは、まさに小学校の授業そのもの。終了後にはメンバーから「楽しかった!」と明るい声も。読者アンケートでもNIEについて好意的な意見が多く寄せられました。次回「中高生編」「家庭編」と授業内容のレベルが上がります!「若者の活字離れ」が問題となっている昨今、新聞の魅力伝える一助とすべく展開して参ります。

(東京本社広告一部・家田良二)



2017年5月27日 東京新聞朝刊



読者の声

ネットニュースもあるが、もっと新聞を読んだほうが良いと思うのでいい活動だと思う。(男性40代)
新聞を学校の教材として活用することは有意義なことと思います。(男性50代)
時事問題から、生きた日本語を学び、今の社会の問題に気付き、どうすれば改善されるのか、を学んでゆく。使う機会があるかどうかわからない英語教育よりずっと大切だと思います。(男性60代)
自分も教員なので、もっと新聞に触れさせたいと思った。(女性30代)
NIEのことは以前から新聞記事の中で知ってはいたが、あらためて取り組みについて知ることができた。(女性50代)

J-MONITOR 調査より



↑2017年2月11日 東京新聞朝刊「新聞切り抜き作品コンクール」首都圏で約3,600名の児童・生徒が参加!!



↑2017年2月20日 東京新聞朝刊 新聞切り抜き作品コンクール表彰式



↑2017年6月1日 東京新聞朝刊「読書部だより」東京新聞ではNIE以外に NIB(Newspaper In Business)も展開中